

2025年度 北見麻高等学校シラバス

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------------------------|---|-----|---|---|----------|----------------|----------|
| 〔教科〕 〔科目〕 | キャリアデザイン | 3年 | 2単位 | 教科書 | - | 副教材等 | - | 履修対象・ 使用教室等 | 3学年アクティブ |
| 教科・ 科目の 目標 | 高校卒業後の長い人生に役立つ知識・教養や所作を身につける。自ら考え正しい選択や意思決定ができるよう、実践的な内容を学ぶ。 | | | | | | | | |
| 評価 の 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| | 社会で役に立つ教養が身についている。自ら積極的に学び、生活の質向上のために学習に取り組んでいる。 | | どのような暮らし方や働き方をしたいのか、それによってどのように自己実現するのか、思い描くことができる。 | | | 環境教育と地域協働学習として、一次産業の必要性和地産地消の意義を学んだ。普段あまり触れる機会のない華道・茶道を体験し、心穏やかに一つのことに集中して取り組むことができる。 | | | |
| 評価 方法 | *単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。 | | | | | | | | |
| 評価 資料・ 評価 比重 (100点換算) | 評価資料等 | | 予定回数・内容等 | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 単元テスト | | 複数回・確認テストもあり | | | 80 | - | - | |
| | レポート作成 | | 6回ほど・iPadを使用 | | | 10 | 30 | 10 | |
| | 映画鑑賞 | | 1回・リアクションペーパー | | | - | 10 | 10 | |
| | フラワーアレンジメント | | 2回・会議室にて生花に触れます | | | - | 10 | 20 | |
| | 茶道体験 | | 8回・最後にはお客さんにお点前を披露してもらいます | | | - | 20 | 30 | |
| | 環境教育 | | 10回・プレゼンテーション | | | 10 | 30 | 30 | |
| | 〔観点別配分%〕 | | 〔3観点の比重を%で示しています〕 | | | | | | |
| 月進行 〔計画〕 | 【単元名】 学習項目名 | 記 当 時 間 (計 画) | 学習内容・目標 (到達点) など | | | 主な評価資料 | | 評価の重み付け〔◎○〕 | |
| 4 5 6 7 | 金融リテラシー講座 | 34 | 金融に関する健全な意思決定を行い、究極的には金融面での個人の 良い暮らし(well-being)を達成するために必要な、金融に関する意 識、知識、技術、態度及び行動を学ぶ。 | | | 単元テスト | ○ | | |
| | | | | | | レポート | ○ | ○ | |
| | | | | | | 授業に取り組む姿勢 | | | ○ |
| 8 9 | 児童福祉を考える | 10 | 子どもの権利を基盤とした児童福祉の内容を学ぶ。福祉の見方・考え 方を体験的に学び、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能 な福祉社会の発展に関する資質・能力を知る。 | | | 単元テスト | ○ | | |
| | | | | | | レポート | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | 映画鑑賞 | | | ○ |
| 10 11 12 | フラワーアレンジメント 茶道体験 | 13 | 心を落ち着かせて生花と向き合う時間をつくる。 茶道を通して「和」の心と、社会に通用する礼儀作法を学ぶ。和室に 関する正しい知識や所作を実践的に学び、知識を定着する。 | | | フラワーアレンジメント | | ○ | ○ |
| | | | | | | 茶道体験 | | ○ | ○ |
| | | | | | | 単元テスト | ○ | | |
| 10 11 12 | 環境教育 | 13 | オホーツクにおける一次産業の重要性を調べ、どうすれば売れるのか地 産地消商品の開発やマーケティングを通して今後の農業のあり方につ いて考える。自らの体験や考えも踏まえつつ、プレゼンテーションを行う。 | | | 単元テスト | ○ | | |
| | | | | | | キャッチコピーづくり | | | ○ |
| | | | | | | プレゼンテーション | ○ | ○ | ○ |
| 学習の アドバイス | ○単元テストでは8割以上の点数を目指すこと。 ○レポートは用紙の8割以上埋めること。内容と趣旨をきちんと理解し、丁寧に完成させること。 ○休んでしまった時にも課題提出があるかもしれません。同級生や教科担任に確認すること。 | | | | | | | | |